

## 奈良県における取組

畜産生産拠点の整備により奈良県農業生産額の増加を目指す。

### 生産農家の意向調査結果

- 畜産経営の規模拡大の意向
- 畜産生産拠点整備の要望
- 6次産業化への意向



### みつえ高原牧場活用の方向性を検討

- ・酪農、肉用牛肥育の大規模農場の誘致
- ・和牛繁殖の取組
- ・地域振興・にぎわいづくり  
(オーベルジュ、畜産加工品製造直売所、ふれあい牧場)



### <課題>

- ・平坦部での畜産農家の規模拡大のための用地の確保は困難。
- ・中山間地域に畜産生産拠点を整備するには、大規模な造成が必要。

### <平成29年度事業>

#### ○ みつえ高原牧場活用検討事業

県東部山間にある、みつえ高原牧場を活用した、畜産および地域振興の施策の基本計画を策定。

1. 畜産生産拠点の整備
2. 地域振興施設の整備

# 国にお願いすること

現在、奈良県では畜産振興を目的として、みつえ高原牧場を核とした畜産生産拠点の造成等、牧場の再整備に向けた基本計画づくりを進めているところ。

将来、これらを整備するにあたって、農林水産省の交付金や補助金の、要件を緩和してほしい。



## 畜産生産拠点の整備

☆奈良県畜産経営のモデルとなる畜産生産拠点を整備

◇畜産の研修生の実習の場

◆飼養規模：肉用牛900頭  
搾乳牛1200頭  
(5事業者の参入を予定)

◆用地造成：県が整備

◆畜舎整備：各事業者が整備

<課題>

・山林を造成するため事業費が嵩む

## オーベルジュ等の整備

みつえ高原牧場を核とした地域振興に貢献する施設の整備

- ◆オーベルジュ・物販施設
  - ・レストラン20席、客室5室
  - ・物販施設100m<sup>2</sup>
- ◆加工処理体験施設、ふれあい牧場等



オーベルジュ



ふれあい牧場

## 【要望】

県が実施する畜産生産拠点整備に係る、施設用地の造成費用も含めた財政的支援を要望する。